

関東大震災から100年

今につながる帝都復興

リニア中央新幹線

森村橋復原



CIVIL ENGINEERING EXHIBITION

# 土木コレクション2023

## HANDS+EYES

2023.11.21 [火] - 24 [金] 21日(火) 13:00-19:00 22日(水) 10:00-19:00  
23日(木) 10:00-17:00 24日(金) 10:00-17:00

新宿駅西口広場イベントコーナー (JR新宿駅西口)



主催 / (公社) 土木学会 共催 / 東京都建設局 同時開催 / 東京 橋と土木展 (主催: 東京都建設局) 協賛 / (一社) 日本建設業連合会、(一社) 建設コンサルタンツ協会、(一社) セメント協会、電気事業連合会、(一社) 日本橋梁建設協会、(一社) 日本鉄道施設協会、(一社) 日本道路建設業協会、(一社) プレストレスト・コンクリート建設業協会、(一社) 日本埋立浚渫協会、(公社) 全国上下水道コンサルタント協会、(一社) 関東地域づくり協会 後援 / 厚生労働省、国土交通省、総務省 問合せ / 公益社団法人 土木学会 土木広報センター TEL: 03-3355-3448 (9:00-17:00)

新宿駅西口広場で恒例の「ドボコレ」の季節が訪れました。「土木コレクション2023」も見どころが満載です。土木エンジニアが高い志を持って国土づくりに取り組んできたことを、美しく繊細な手描き図面をベースに伝える「HANDS」、新しいコンセプトや発想力、次の土木の方向性を魅力的な写真などで示す「EYES」。2つの視点「HANDS+EYES」で興味深く、新鮮な展示を取りそろえました。

2023年のメインテーマは3つ。1つ目が「帝都復興」です。未曾有の災厄をもたらした関東大震災から、100年の節目を迎えました。復興の過程で造られたインフラは今なお私たちの街を支えています。そこでバナーやパネルで、帝都復興の主な事業を紹介します。100年を経てもなお息づく歴史の一端から過去の試練をどのように乗り越え、東京がどのように成長してきたのかを感じ取って下さい。

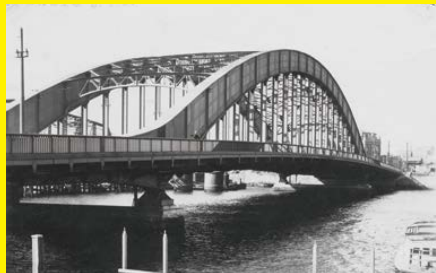
2つ目のテーマは「リニア中央新幹線」です。日本の新た

な輸送の大動脈として、首都・中京・近畿の3大都市圏を一体化する「スーパー・メガリージョン」の形成につながることが期待されています。難度が高い南アルプストンネルや都市部のシールドトンネル、高架橋などの工事に奮闘する様子を、写真や動画でお伝えします。

3つ目のテーマは国の登録有形文化財である「森村橋」の復原プロジェクトです。1906年に静岡県小山町に建設された森村橋は100年以上が経過して、落橋寸前まで老朽化が進んでいましたが、見事、復原に成功しました。設計当時の図書がほぼ残っていないなかでの再現計算や、元の部材をできるだけ再利用する施工法など、プロジェクトの全容を動画で紹介します。

他にも、貴重な映像やお子様も楽しめる展示を準備し、皆様をお待ちしております。土木コレクション2023を通して、土木の奥深さ、面白さを堪能していただければ幸いです。

## ドボコレ1 帝都復興・見どころ土木遺産



東京・神奈川を中心に未曾有の災厄をもたらした関東大震災。2023年は関東大震災から100年の節目の年になります。震災以降、「帝都復興」の使命に基づき成し遂げられた事業は、今なお私たちの街を支えています。この展示では、「土木コレクション」の取り組みで収集した資料と、土木学会の機関誌「土木学会誌」の連載「見どころ土木遺産」を基に、関東大震災からの復興で造られた土木構造物などを中心に紹介します。私たちは過去の試練をどのように乗り越え、東京がどのように成長してきたのか——。この節目の年に、ぜひ東京の歴史と共に歩み、その復興の軌跡に思いを馳せていただければ幸いです。

## ドボコレ2 リニア中央新幹線



最高時速500kmのリニア中央新幹線は、日本の大動脈輸送を担う東海道新幹線のバイパス機能を確保するとともに、3大都市圏（首都・中京・近畿圏）を一体化し、スーパー・メガリージョンを形成すると期待されています。中央新幹線は2014年の工事実施計画の認可以降、着々と工事が進められています。長期間にわたり難度が高い南アルプストンネルやターミナルをはじめ、都市部非常口、シールドトンネル、高架橋など多岐にわたります。これらの工事の遂行に当たって、土木技術者として奮闘する姿を写真や動画を交えて紹介いたします。

## ドボコレ3 森村橋（動画放映）



静岡県小山町に架かる森村橋は、1906年（明治39年）に紡績会社の軽便鉄道として建設され、国の登録有形文化財に指定されています。建設後100年以上が経過して落橋寸前だった森村橋ですが、「復原プロジェクト」で2020年によみがえりました。そのプロジェクトの全容を動画でご覧いただけます。設計当時の図書がほぼ残っていないため、3次元測量による図面化や当初設計の再現計算を実施。その上で現行の基準に合うように再設計を行うなど設計から難航しました。施工段階では元の部材をできるだけ再利用するため、橋梁を全て撤去し工場内で再生して再度架橋するという大工事となりました。

## 同時開催 東京 橋と土木展

東京都建設局では、土木の日（11月18日）にちなみ、土木の意義や魅力を都民の皆様にご覧いただくことを目的として、例年11月に「東京 橋と土木展」を開催しています。11回目の開催となる今回は、「関東大震災100年」をメインテーマに、あらためて震災当時の状況などを振り返るとともに、復興事業計画の経緯を紹介するパネルや復興に関わる模型などを展示します。さらに、東京都が行う道路事業や河川事業、公園事業など「TOKYO強靱化プロジェクト」に関連する展示を行います。



ドボコレミュージアム  
DOBOKU COLLECTION  
MUSEUM



<https://www.jsce-dcm.com/>

土木コレクションミュージアム（ドボコレミュージアム）では、土木コレクションで展示する貴重な写真や図面、歴史資料の数々をWeb空間上にバーチャルで展示・公開しています。これまでのコンテンツを全て見ることが出来ます。



# 土木コレクション2023

2023.11.21[火]ー24[金]

21日(火)13:00-19:00 22日(水)10:00-19:00

23日(木)10:00-17:00 24日(金)10:00-17:00

新宿駅西口広場 イベントコーナー（JR新宿駅西口）

